

質問事項に対する回答書

(工事名)新潟支社管内 ローカル伝送設備更新工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の 番号等	質問事項	回答
1	5月8日	特記仕様書	P23～P24	3-1-11P 変換装置	IP変換装置の概略図において、管理事務所に設置するIP変換装置(ローカル)が記載されてます。このIP変換装置(ローカル)はIP変換装置(幹線)へ渡す為にレガシー回線IFに戻す機能を有する必要があると解釈していますが認識あってますでしょうか？	その通りです。
2	5月8日	特記仕様書	P27～P28	3-1-1 (8)FSK (9)QAM	1項に記載した解釈により、ディサスタリカバリを実現する2方路送信機能は従前通りIP変換装置(幹線)が有するものと解釈できます。よって今回のIP変換装置(ローカル)では2方路送信機能を有さず、FSK/QAMのインタフェースは使用しない解釈ですが認識あってますでしょうか？	特記仕様書に記載の通り、2方路送信の機能を使用するものではありませんが、IP変換装置の機能として、FSK/QAMのインターフェースを有するものです。
3	5月8日	特記仕様書	P30	3-2 IP変換装置 監視卓	今回導入するIP変換装置(ローカル)の監視は、将来的には関東支社、東北支社に設置されるコントローラにて監視/制御を行う認識です。今回導入するIP変換装置監視卓も含め、コントローラと連携して構築する必要があると考えておりますが認識あってますでしょうか？	本工事にて設置する機器のみを監視する卓です。
4	5月8日	特記仕様書	P31～P34	3-3-2項 3-3-3項	既設機器の転用についてですが、各既設機器の製造業者・型名をご教示頂けないでしょうか。更新機器と組み合わせるにあたり情報提供頂きたいです。 また、湯沢ICについては、既設整流器に蓄電池盤を更新し構築しますので既設整流器盤の製造業者・型名もご教示お願いします。	既設機器の製造業者・型名は、契約後開示いたします。 既設機器の転用に伴う各機器の整備等に係る費用については、特記仕様書3-3-3項記載の通りです。